

8階西病棟

診療科

消化器・代謝内科

病床数

51床

看護師数

看護師長1名、副看護師長3名、看護師31名

主な疾患

- ・肝臓疾患(肝細胞癌、肝硬変、自己免疫性肝炎、胃食道静脈瘤)
- ・膵胆道系疾患(膵臓癌、胆管癌、胆管結石、膵石、急性膵炎、自己免疫性膵炎)
- ・消化管疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、食道癌、胃癌、大腸癌)

治療・検査

- ・肝臓疾患(肝動注化学塞栓療法、肝生検、ラジオ波凝固療法、内視鏡的静脈結紮術・硬化療法)
- ・膵胆道系疾患(逆行性膵胆管造影、超音波内視鏡下穿刺吸引生検、対外衝撃波結石破碎術)
- ・消化管疾患(上部・下部消化管内視鏡検査、ダブルバルーン小腸内視鏡検査、カプセル内視鏡検査、内視鏡的粘膜剥離術・粘膜切除術)
- ・がん疾患に対し、化学療法や緩和療法を行っています。

看護の特徴

8階西病棟は消化器・代謝内科の患者さんが入院しており、肝臓、膵胆管、消化管の3分野への看護を提供しています。

それぞれの患者さんの個別的な問題点を多職種間で共有し、患者さんが安心・安全に入院生活を送ることができ、自宅退院やスムーズな転院を目指した合同カンファレンスで解決策の提案と看護実践をしています。

緩和ケアチームと協働し、がん患者さんの疼痛や不安、不眠などの症状を軽減する援助も行っています。

また、クリニカルパスを導入し、在院日数の短縮を図り病院運営への参画を行っています。

そのほか、ひろしま肝疾患コーディネーターの資格を持つ病棟看護師が、外来部門（I 外来）の肝疾患相談室と協働し、肝疾患相談業務も行っています。